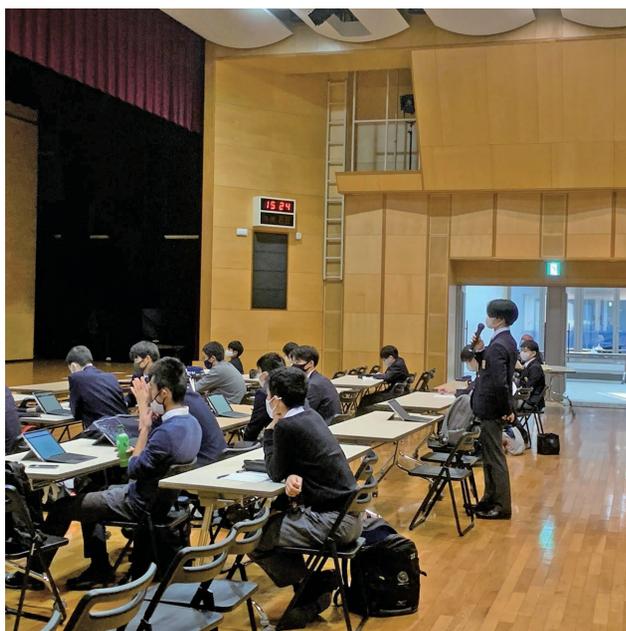


降誕節のたより

2020年度 学友会入部届 集計

	中1	中2	中3	中学合計	高1	高2	高3	高校合計	総部員数	中学部長	中学副部長	中学マネージャー	高校部長	高校副部長	高校マネージャー
英語部	0	0	0	0	2	2	0	4	4	(中高一緒に活動)			高2-1 河野真之	高2-2 斉藤大毅	
演劇部	2	3	0	5	3	1	3	7	12	中2-3 坂本 琉			高3-4 中島悠裕		
科学部	5	5	2	12	3	3	1	7	19	中3-3 東 拓優			高3-1 濱田知宏		
写真部	2	3	2	7	8	0	0	8	15	(中高一緒に活動)			高1-3 金子龍之介	高1-3 池上創	
吹奏楽部	10	9	13	32	14	8	11	33	65	中3-2 一関海璃	中3-2 齋藤浩太 中3-4 長谷部雄也		高2-2 小熊雄大	高2-2 池田 晃 高2-2 日高翔太	
数理研究部	8	9	11	28	9	3	6	18	46		中3-3 福島史道		高3-4 山崎友也		高3-2 黒田耕太郎 高3-4 齋木利宏 高3-4 大日 蒼
生物部	1	2	1	4	4	1	2	7	11	中3-1 原田齋紀			高3-3 畠山大哉	高3-2 岸本宗平	高2-4 平田光佑
聖ポーロ会	0	0	0	0	0	2	3	5	5						
地歴研究部	5	2	7	14	5	7	4	16	30	(中高一緒に活動)			高3-2 坂森美音		
鉄道研究部	2	3	2	7	3	5	5	13	20	(中高一緒に活動)			高3-2 工藤璃玖	高3-3 増田夢己	高2-1 中山裕太
天文部	1	0	1	2	1	2	6	9	11	(中高一緒に活動)			高3-1 瀧澤俊哉		
美術部	3	3	2	8	3	10	5	18	26	(中高一緒に活動)			高3-1 富山智久	高3-3 城戸智也	
文芸部	1	6	3	10	4	9	0	13	23	(中高一緒に活動)			高2-4 野口大清		
放送研究部	4	6	8	18	2	3	1	6	24	(中高一緒に活動)			高3-4 入交恭輔	高2-2 三宅拓磨	高2-3 森田幸暉
クワイアー	3	4	1	8	1	4	4	9	17	(中高一緒に活動)			高3-2 三上 聖	高3-3 細谷航平	
合計(A)	47	55	53	155	62	60	51	173	328						
(アコライト)	0	4	4	8	2	1	3	6	14	(中高一緒に活動)			高3-2 坂本勇祐		
剣道部	1	1	3	5	2	0	3	5	10	中3-3 藤本陸人			高3-4 杉山翔太郎		
ゴルフ部	8	3	5	16	10	7	7	24	40	(中高一緒に活動)			高3-4 森山正斗	高3-2 中島幸輝 高3-3 高畑有佑	
サッカー部	10	22	13	45	13	15	7	35	80	中3-2 中丸泰知	中3-1 塩田歩暁 中3-2 伊藤颯真	中3-4 藪木大偉	高3-3 川村空楽 高3-3 山本大貴	高3-1 堀越亮多	高2-2 松井浩平
山岳スキー部	1	1	9	11	4	3	1	8	19	中3-2 安藤晴也	中3-3 葉梨蒔翔	中3-1 三浦大遙	高3-4 前田泰佑		高2-3 森田幸暉
水泳部	8	4	14	26	8	13	6	27	53	中3-1 石田涼馬	中3-2 今田誠吾	中3-1 佐藤佑樹	高3-1 横野涼介	高3-4 坪内佳佑規	高3-2 磯本圭吾
卓球部	17	22	11	50	12	8	12	32	82	中3-1 白井仁	中3-3 西野拓真	中3-1 中里終平 中3-2 光武桜月	高3-4 平野昌木	高3-1 池田龍海	高3-2 小川葉大
庭球部	18	13	15	46	9	9	17	35	81	中3-4 公森太郎	中3-1 原藤太郎	中3-3 竹村心真	高3-2 小泉光生	高3-4 長谷川嵩	高3-3 菊地祐太郎 高3-1 佐々木溪
バスケットボール部	28	20	12	60	6	10	8	24	84	中3-4 川本晃大	中3-2 諸橋 瑠	中3-3 木原一晴	高3-3 高柳杜斗	高3-3 池田 譲 高3-4 田上颯	高3-1 藤木麗王
野球部	12	4	20	36	18	15	10	43	79	中3-1 島田種英 中3-4 齋藤澄人	中3-2 平出大希 中3-2 山崎能歩		高3-3 清野遼太郎	高3-2 中山侍英	
陸上競技部	8	12	2	22	5	9	12	26	48	中3-3 佐藤吏玖士	中3-2 望月悠生	中2-1 川辺陽也	高3-3 佐藤 嶺	高3-4 今村健人	高3-3 齋川 純
釣り同好会	2	4	1	7	1	1	4	6	13	(中高一緒に活動)			高3-3 細谷航平		
合計(B)	113	106	105	324	88	90	87	265	589						
総計	160	161	158	479	150	150	138	438	917						

※兼部の生徒も含まれます。なお、三役の呼称は、部・会により異なります。



中期に入ってからは一斉登校が始まり、直接集まる事ができるようになる。しかし、前例のない状況での開催だったため、全体での認識を持つことが非常に難しくなった。なので、いつも以上に情報共有をしっかりと行い、大きなトラブルに繋がらないよう工夫した。また、オンラインで行うことにより動画の編集やホームページの作成などもアイデアに関する知識が重宝された。それは現在、社会でも活用されているもので、時代に即したR・I・

例年前期から始まるR・I・Fの準備であるが、今年度はコロナウイルスの蔓延によって、中期からの本格始動となった。前期は、分散登校中でも可能な概要の決定などをオンライン上での会議で行い、オンラインでの開催を決定した。また、前例のない形式での開催だったため、何もないところから創り上げる必要がある、何をするかという段階からスタートした。

R・I・Fを終わって

Fを創れたと思う。実行委員長を決める選挙から役目を終えるまでの活動は、私にとって大きな挑戦となった。それは、私が今までやろうとしてこなかったことを一度に経験する機会となったからである。人前に立つことが苦手だった私は、実行委員長などの立場を担うことがなかった。そのためR・I・Fを創るといふ嬉しさよりも不安や焦りなどの思いが多くあったと思う。けれど、時間が経つにつれ、実行委員長のありべき姿に近づくことができたと思う。自分のできるか分からないうちでも、いざ挑戦してみようとなつたりする。そして挑戦することは、大きな気づきと成長を与えてくれる。これらのことを知れた経験だった。だから不安で挑戦しようか迷っている人がいるなら、思い切って一歩踏み出してほしいと思う。

(R・I・F 実行委員長 高二 岩崎 優)

中学一年便り

幅広い学びを続けよう

空いた時間に映画鑑賞を愉しむ。映画好き(シネフィル)を公表するのは気恥ずかしく、蓮實重彦氏に叱られそうであるが、最近印象に残った作品から。まず、『ムヒカ』世界でいちばん貧しい大統領から日本人へ。主義主張はともかく、魅力的なのはムヒカ氏の博識ぶりとの話の面白さである。日本の反対側、南米ウルグアイにありながら、元大統領は日本の国民性、近現代史について実に深く正確に理解している。本人曰く、読書を通して得た部分が大きいとのこと。あわせて、難解な言葉でまくし立てるのではなく、簡単な言い回しを使いつつ、誰もが理解できる比喩を交えて、heatはもちろんのこと、mindにも訴えかける知性。

二本目は『博士と狂人』。英語辞書で最も権威があるとされるOED(オックスフォード英語辞典)。この辞書の凄さは、語源を明らかにし、語が辿ってきた意味の変遷(授業でも触れました!)を数百年も前の使用例を引いてあぶりだしている点にある。主人公にして辞書編纂者のJ・マレーの座右の銘“Fini est melius quam vita diligentissima(勤勉な人生にまよるものなし=ラテン語)を心に刻み、生来の怠け癖から抜け出し、英語、仏語に磨きをかけてようと改めて決意した(と公表することにより自分を追い込みたい)。

最後に『ヒルビリー・エリジー 郷愁の哀歌』。アメリカの繁栄から取り残された白人一家の物語だが、WiFiの繋がりが悪い状況を基本動詞(三単現!)で“It comes and goes.”と表現

している(内容じゃなく、そこっすか!)。中学英語、すべての基礎ですね。しっかり身につけましょう。

生の外国語に触れ、時代まで超えて世界を垣間見、疑似体験する。厳しい社会状況下でも国内、自宅で手軽に出来る堅苦しくない「学び」としていかがですか? 一粒で何度も美味しい玉手箱です。(安原 章)

中学二年便り

食わず嫌い

僕は大学生の頃、アメリカの「スシ・レストラン」でバイトをしていたことがある。ある日、お客さんが注文をキャンセルしたからと言って、その店の寿司職人の忍さんが「白子ボン酢」を僕にくれた。知っている人もいないと思うが、白子は魚の精巣であり、見た目は白くグニャグニャしていて、初見の人にとっては間違いない、食欲がそられるものではない。当時の僕も食べたことはなかったが、大変お世話になっていた人からの誘いを断ることができず、ありがたかったです。結果、僕の食わず嫌いらすとから「白子」は除外された。見た目からは想像できない美味しさで、今でもお店に行ったら必ず注文するほどのお気に入りになった。

食わず嫌いとは主に食べものに對して使う言葉だが、「試したことがないのに、それを実際に試す前から嫌ってしまう」ということは日常生活でもよくあることだと思ふ。その理由は多くの場合、上手くいかなかったらどうしようと考え、怖くなってしまふからではないだろうか。でも、やってみないと分からないことは

あるし、何より「分からないまま」というのはもったいないことだと思う。学校は「上手くいかなかったことから学ぶ場所」なのだから、中学生の皆にはもともと、色々なことを試してみてもらいたいと思う。意外と「美味しい」ものが見つかるかもしれないよ。(新島 亮)

中学三年便り

校外学習はなかったが...

十一月十七日、中学三年生は首都圏近郊で班別自主研修を行いました。本来なら五月半ばに校外学習本番が行われるはずで、一年生のときからコースの作成や自主研修の計画などの準備を重ねてきました。三月以降状況が一変し九月には校外学習の中止が決定。さて、どう伝えたいものか? みなさんの反応は...。発表前日は気をもんだものですが、実際に伝えたとときの様子はとても落ち着いていた。いつも見慣れた存在がいつの間にか大人になっていた。たんだなあと感じました。「できる限り思い出に残るプログラムをつくらう」。校外学習の代替行事として準備・本番・まとめを含めた四日間のプログラムが始まりました。二〇二〇年に立教池袋で行われたリモートではない唯一の行事です。みんなでインターネットなどから資料を集め、どこに行くのか、何をやるのかを相談する。移動の手段や時間は、博物館などの開館時間や入場料は、お昼はどうする...計画を立てるときの楽しそうな顔を思い出します。

当日の天気は快晴。新宿、上野、新木場、横浜の四カ所から朝八時に出発。

浅草・お台場などの都内はもちろん、鎌倉や横浜、その先は小田原・熱海や沼津方面まで各班が散らばります。Roadで送られてくる道中の写真に、自分も一緒に旅しているかのように。夕方、戻ってきた生徒の顔は満足感にあふれていました。翌日資料を整理、最終日に班ごとのプレゼンテーションを行いました。

今回のプログラムを通じて多くの成長を感じることができました。小さいけれどよい思い出になるとともに、これからの活かしてくれたらうれしいなと思っています。(荻野朝行)

高校一年便り

タレント

先日の学年礼拝で、興味深い話を聞きました。その内容は、イエス・キリストが語ったたとえ話の一つです。しもべたちが主人から預けられた通貨「タラント」をどう使うかが描かれています。タラントとは、古代ギリシャで出てくる通貨の単位で、しもべの能力に応じて、預けられたお金の量に差がありました。

また、タラントという言葉は、「タレント」という言葉の語源となっているようです。タレントは、才能・能力という意味があります。しもべ達は、預かったお金(才能)をうまく使ったものから、土の中に隠してしまつたものまで様々でした。皆さんは、自分が持っている才能を活かしているでしょうか。数学の才能、文章を読む才能、野球の才能、絵を描く才能、お喋りの才能...人と比べて秀でているところは必ずあるはずですよ。自分の才能を理解し、自

分や周りのために活用しているかどうか、そしてその才能を伸ばす努力をしているかどうかで、その人の成長度合いは大きく変わってきます。一番もったいないのは、自分の長所や才能を分かって過ごしていることです。まずは自分の才能を見つけてみましょう。二〇二一年は、一人一人が立教池袋の「タレント」となることを期待しています。(最上滉平)

高校二年便り

かきまぜてみる

はくちよう、てんま、ぎんが、あすか...と聞いてその次が出てきたらなかなかのマニアである。寝台特急? いや、正解は「すざく」。歴代の国産のX線観測衛星の名前である。伝説上の神鳥であり、宇宙の守護神でもある朱雀が名前の由来である。

このすざく衛星の成果の一つに巨大ブラックホールがある。最新の研究によれば、どうやらこの宇宙の元素は宇宙初期に作られた巨大ブラックホールによってよくかき混ぜられてきたらしい。私たちの体を構成する元素(FeやCaなど)は星の内部や、最後の大爆発で生成された。しかし、それらの元素は局在していて、そのままでは出会うことはない。巨大ブラックホールはそれらの元素を一旦引き寄せ、ジェットとして遠方へ吹き出す過程でかき混ぜてくれたありがたい存在というのだ。こうして地球が誕生した。ブラックホールの研究はもはや私たちの起源を解き明かす学問になりつつある。君たちの学校生活はどうであろうか。高二は学習の山場の一年。日々、頭の中

に新しい知識が次々に生み出される。しかし、「この知識」と「あの知識」は局在して、そのままでは出会うことはない。聞いて終わりの授業ではなく、よくかき混ぜ(頭をふつても意味はない)、互いに結びつきやすくする努力が将来の差を生む。人生はそんな作業の繰り返しなのかもしれない。

さあ、淀みを崩し、かきまぜてみよう!(吉田清典)

高校三年便り

謙虚さ

「自分を低くして、この子供のようになる人が天国でいちばん偉いのです」(マタイ十八:四)

高三中期の授業を終え、最後の試験も済んだみなさんにぜひ伝えたいことがあります。それは「謙虚さ」ということです。みなさんは、この六年間でさまざまなことを学び、身につけてきましたね。それらは確実に力となり、た

とえ今は目に見えなくとも、ポテンシャルとして内に秘められていることでしょう。

新しい進学先で、グループ学習のリーダーとなったリ、ゼミやサークルで積極的に活躍したりするかもしれません。あるいは将来、仕事のプレゼンテーションで成果を見せたり、周囲の人をサポートするポジションにつくこともあるでしょう。自信を持ってその歩みを前へと進めて行けるはずですよ。そんなみなさんだからこそ、伝えたいのです。力を持つているものが、常に謙虚さを心がけて欲しい。お互いを尊重して、人に敬意を持って接することを忘れないでください。立場が強い時には忘れがちなことですが、どうぞこのことを心に留め、そしてこの学校で学んだことに誇りを持って、これからの人生を生きていってください。よいクリスマスです。そしてすてきな新年が迎えられますようお祈りします。(初瀬川正志)

今日の聖句

Heaven and earth will pass away, but my words will not pass away. (Mark 13:32)

During advent, the four weeks before Christmas, we are meant to be doing two basic things. One of them is to reflect on the nearly ended year. Almost one year has finished, so looking back gives us a chance to think about any remorse or joy that occurred during that time and to also make amends or try to make an effort to better ourselves. The other basic thing we are meant to do is prepare for the birth, or rather, rebirth of the Saviour. Advent basically means "arrival" so we know that something is coming, but we just don't know exactly when. That is kind of the magic of the season. We can try to build the excitement of Christmas Day in our daily lives, knowing that the 25th of December really will arrive. At the same time, being prepared, spiritually, for that moment means more than excitement. It means remembering any words that Jesus said that remain in your heart. Why are those words important to you? Take the time to prepare your hearts for Christmas by reflecting on those words. Chaplain Mark Stahl